資料番号⑦

【雛形】

提案書

**日本の地方自治体における台湾との交流状況調査**

入札者名（事業者名）

【連絡先】

担当者所属／氏名：

電話番号：

E-mail：

1. **調査の目的、目標及び内容**

（１）調査の目的について

　　・目的等（調査の背景・目的、課題・問題点、調査目標など）について具体的に

記述する。

（２）効果的・効率的な観点及び有効性・根拠について

　　・仕様書に示す事項以外に、本調査を効果的・効率的に実施するための観点がある場合、提案内容及びその有効性と根拠を可能な限り具体的・客観的に記述する。

（３）調査内容・方法及び評価手法の妥当性について

　　・調査内容・方法及び評価手法について、①調査内容・方法の視点、質問根拠、

②評価手法に関する視点、③検討の視点などを提示しながら具体的に記述する。

（４）調査内容及び調査方法の独創性について

　　・調査内容及び調査方法の創意・工夫がある場合、提案内容及びその有効性と根拠を可能な限り具体的・客観的に記述する。

（５）報告書の構成案について

　　・報告書の構成案について記述する。

（６）作業計画について

　　・確実に成果をあげるため、作業計画（作業内容、担当者、開始日、終了日、作成資料名）とそのスケジュールを記載する。

1. **調査の実施体制**

（１）実施体制、役割分担について

　　・業務の実施体制や役割分担について、体制上の役割分担（個々の担当業務）や担当者数がわかるように記述する。

　　・各チームのリーダークラス要員が当該業務における実績を有し、その実績が当該業務の実施にあたり有益である場合にはその旨を具体的・客観的に記述する。

（例えば、「過去の実績における経験者を当該業務の各チームに従事させる」等）

　　【業務実施体制記載例】

ＸＸＸＸリーダー

役職　　　名前

XXX　　　　XXXXX

ＸＸＸ研究チーム

役職　　　名前

XXX　　　　XXXXX

ＸＸＸ研究チーム

役職　　　名前

XXX　　　　XXXXX

ＸＸＸ開発チーム

役職　　　名前

XXX　　　　XXXXX

XXX担当

XXX担当

（２）類似調査業務等の実績及び知見・専門性について

　　①過去の実績について

・本調査担当者の、類似調査業務・その他関連した事業の実績・経験について記述する。

②知見・専門性について

　　・入札者、本調査担当者が本業務の遂行に必要な知見・専門性を有しているかについて記述する。

（３）経理処理能力・管理体制について

　　・事業を円滑に行うための財政基盤と設備、証拠書類等の整理・管理等の体制について記述する。

　　①財政基盤、設備等の状況について

②証拠書類等の整理・管理体制について

1. **経費見積書**

・事業実施に係る経費の見積もりを記述する。

経費見積書

（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 内訳 | 金額 | 積算内訳 |
| 1. 人件費
 | 主席研究員主任研究員研究員 | 0,000,000zzz,zzz | @xx,xxx×y時間＝zzz,zzz |
| 1. 事業費
 | 国内調査費翻訳費資料費印刷費通信費　・　・ | 0,000,000 | 旅費宿泊費日当(注１) |
| ３．一般管理費 |  | 0,000,000 | 人件費の10%以内 (注２) |
| ４．小計 |  |  | (注３) |
| ５．消費税及び地方消費税 |  |  | 小計(注４)×10%(注２) |
| ６．合計 |  |  |  |

　注１：消費税及び地方消費税は別掲のため、単価に含まれている場合は除外の上、計上のこと。

　注２：小数点以下を切り捨てること。

　注３：入札金額と一致すること。

　注４：消費税及び地方消費税に係る免除事業者にあっては、課税売上げに係る消費税及び地方消費税について計上することはできない。

1. **その他**

・事業の円滑な遂行に資すると考える事項がある場合、その他特記すべきと考える事項がある場合には、その理由とともに記述する。